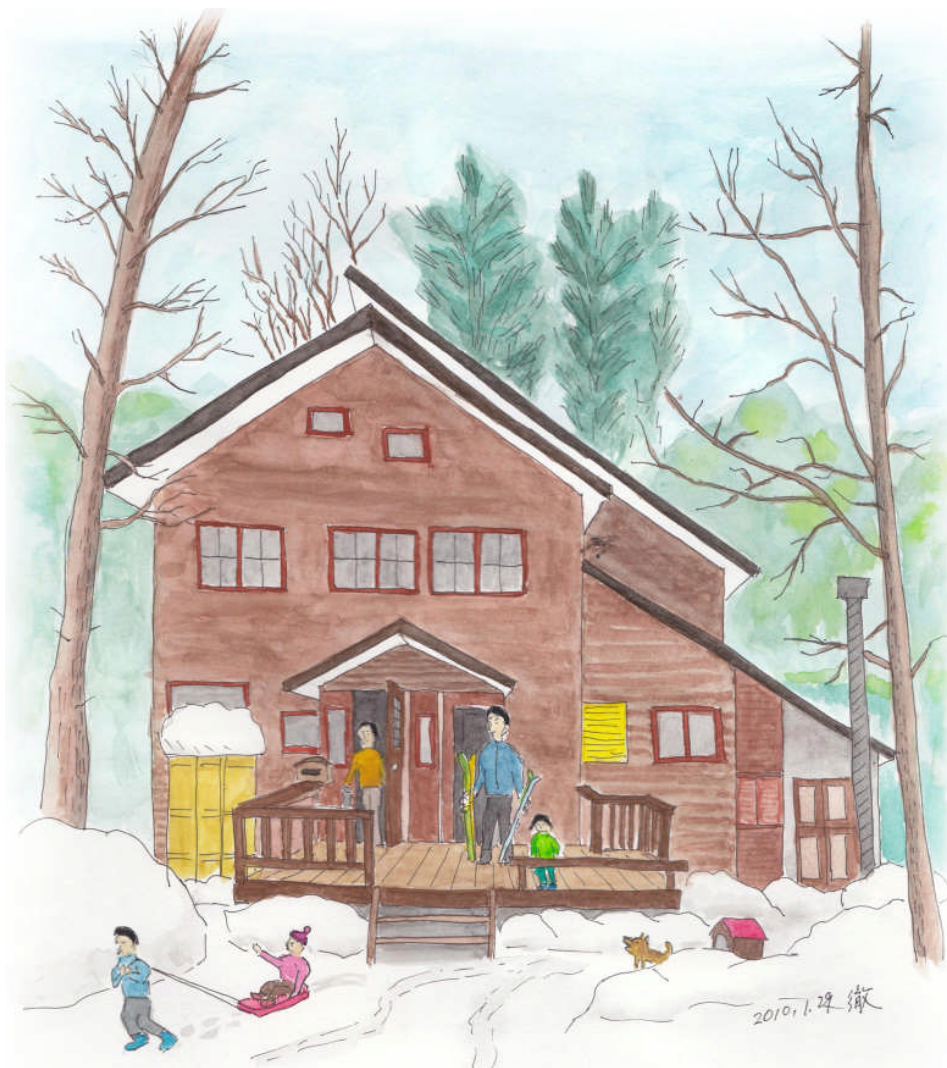


1月24日の名護市長選挙で、辺野古への普天間基地移転に反対する稲嶺進さんが当選しました。元々普天間基地は、戦時中にアメリカ軍が戦時国際法を無視して、住民の土地を取り上げて作ったものです。1907年に結ばれたハーグ陸戦条約の第46条には[私権の尊重]として「家ノ名誉及権利、個人ノ生命、私有財産並宗教ノ信仰及其ノ遵行ハ、之ヲ尊重スヘシ。私有財産ハ、之ヲ没収スルコトヲ得ス。」と規定してあります。(同志社大学情報公開用サーバーより)しかし、普天間基地は住民をアメリカ軍が収容所に収容している間に、住民の家屋を壊し、土地を取り上げて作ったものです。更にサンフランシスコ条約が結ばれた1951年以降には、沖縄は米軍の施政権下に置かれていたのですが、米軍は住民の同意を得ることなく、土地を接収して基地を拡張しました。実際、土地の接収に反対する住民に銃剣を突きつけ、ブルドーザーで家屋を押しつぶして基地が拡張されたのです。

ですから、元々、普天間基地の存在自体が違法の物です。ですから、普天間基地をどこかに移設するのではなく、普天間基地その物を無くすことが必要と思います。

--- 長野県白馬村にて ---



この絵は先月末に行った、長野県白馬村のペンションの絵です。

名前は「ヒューマンペンション・コムパス」です。私は夏に白馬榎池の白馬自然園に行く時に泊まってから、冬はスキー、夏は白馬山麓のトレッキングで、もう十回以上泊まっています。

2月には22日から夫婦でスキーに出かける予定です。もし、一緒にスキーに行きたいという方がおられましたらご連絡下さい。

電話 045-742-7975